



1月25日開催東地申第29号

(その1)

「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 「松戸統括センター綾瀬乗務ユニット」団体交渉を行う！

1.常磐緩行線の混雑解消のため、平日6時～8時で上り列車1本以上、平日16時～18時で下り列車1本以上増発すること。

回答：列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して設定している。

組 合

- ◆お客さまが増えてきている変化を感じているが、認識はどうか。
- ◆インバンドや語学留学生も増えている。未来を見据えて増発すべきである。
- ◆検証でも亀有駅～綾瀬駅の乗車率が高く、乗車するのに一部に集まってしまうが、駅の放送等はどうなっているのか。
- ◆実際に分散されているのか。
- ◆遅れると直ぐに200%になってしまう。その為にも本数は増やすべきである。
- ◆JR、メトロ、小田急の3社で考えて頂きたい。
- ◆意見交換会についてはどんな話がされるのか。
- ◆我々はお客さまが増えているという認識である。各車両に分散乗車できるようにしていかなければならない。

会 社

- ◆今の状況は卒業式等、減っている月もある。4月～6月は増えることも予想されるが増発までは考えていない。
- ◆認識はしているが、しっかり需要を見極めていかなければならない。
- ◆2月に朝の通勤帯で見たが、列車のいない場面で案内を行っている。
- ◆まだ全てに行き届いていない。
- ◆それほど乗っていないと感じている。今の所、増やす考えはない。
- ◆1年に1度、意見交換会を行っているが、ダイヤの話については行っていない。
- ◆主に施策についての話である。
- ◆しっかり見ていく。

2.平日、綾瀬駅場面で到着時から次の担当列車の発車時刻までの乗り継ぎ時間に余裕がないため20分以上空けること。

回答：列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。なお、引き続き効率性と働きやすさの追求に向けた検討を行っていく考えである。

組 合

- ◆働きやすさの追求とは何か。
- ◆20分あればメトロからの遅れも確認できる。
- ◆何か考えていることはあるのか。
- ◆上り綾瀬駅到着時について、側線修正でA線に到着するがC線からの発車があると、何秒かプラスになると思うが。
- ◆上りで亀有駅までは定時に来ているが、綾瀬駅の機外で止められる。綾瀬駅での着の遅れの認識はどうか。
- ◆停止位置でデータが取れるのか。

会 社

- ◆現行並びに改正後についても列車本数は変わっていない。朝通帯時に綾瀬駅において乗継時に大変だということも認識している。行先地の時間も拡大に努めている。
- ◆メトロの調整も必要になるが、列車本数に縛られるため厳しい。
- ◆メトロからの着時刻を変えるのは厳しい。
- ◆綾瀬駅止まりの時に10秒プラスになる。
- ◆1分未満で到着ではデータに反映されていないので、大きな遅れはない。
- ◆ATOSがどこまで引っ張っているか正確な場所は分からない。



1月25日開催東地申第29号

(その2)

「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ 「松戸統括センター綾瀬乗務ユニット」団体交渉を行う！

◆実際に2分から3分くらい遅れて到着する。本数を増やすか乗り継ぎ時間が20分あれば余裕ができる。

◆綾瀬駅の改札にメトロ社員が居ない時間があり、お客さまに聞かれることがある。

◆到着の遅れについて実際と実態が乖離していると感じている。

◆次に乗る準備に余裕がない。何が出来るか考えて行きたい。

◆余裕はあった方が良いが、行路的にきつくなる。本数を増やすことは厳しい。メトロ線内の遅れは認識していて、メトロ会社にも解消に向けてもらえるように伝えている。

◆認識はしている。

◆乖離があるのか実態の把握をしていく。

◆承知した。

3.平日、朝帯のC速時間帯は綾瀬駅到着10時まで、夕夜間帯綾瀬駅21時発までC速時間帯を拡大すること。

回答：列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して設定している。

組 合

◆通勤パターンが変化していると感じているが、認識はどうか。

◆ラッシュ時間帯からズレて混雑している状況である。C速に縛りがあるのか。

◆遅れや乗車率・混雑率等、一定の基準はあると思うが、何を基準にするのか。

◆首都圏本部に伝えるやり方は、何かあるのか。

◆トレースも全社員に行き渡っていない。やるのであれば全員に聞くべきである。

◆今の現状で満足することなく進めていただきたい。

◆C速にしない理由は何があるのか。

◆2ポツで解消されるのであればC速でも問題ないのではないか。

◆課題を解決して、お客さまにとってより良いものにしていかなければならない。

会 社

◆遅れの実績では遅れもそんなにないと認識しているが、引き続き変化は把握していく。

◆縛りの規程はないが、現場と意見交換をしている。C速の拡大が出来ないわけではない。

◆明確な判断基準はない。様々な状況を見て判断していく。

◆ダイヤ改正後に現場との意見交換もある。

◆PTが中心になるが、全体から意見をもらうようにと区所には伝えている。

◆改正以降、把握していく。

◆明確な理由は持っていないが、列車の運転間隔を維持するのに現行の形になっている。

◆引き続き勉強していく。

◆想いは一緒である。

今後の検証行動を通じ安全で働きやすい 職場をつくり出していこう！